

KSK(リアルライフNews)第3種郵便物承認 通巻3732号 2024年4月25日発行

とくていひえいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人

じりつせいかつ
自立生活センター・リアライズ



リアルライフ News

Vol.30

KSK 1984年8月20日 第3種郵便物承認 毎月(5・10・15・20・25日)発行



しんねんど 新年度の

ほうじん じりつせいかつ
NPO法人 自立生活センター・リアライズ

りじちよう つじた ななこ
理事長: 辻田 奈々子

ねん まく あ さくねん みな いちねん
2024年の幕が開けました！ 去年は皆さんにとってどんな一年でしたか？
リアライズでは、2015年度から地道に取り組んできたバリアフリー推進
のための泉大津TRYにおいて、新たにSeason3を始動することとなり、そ
の開幕に向けて準備を進めてきました。

きた ねん がつ しょうがいしゃさべつかいしょうほう 民間事業者による合理的
的配慮の提供が義務化されますが、その法改正の内容を広く市民の皆さんに
知ってもらうことを目的としています。

あわ いずみおおつし ねん がつ じっし かんきょうせい
併せて、泉大津市で2023年5月から実施されているバリアフリー環境整
備のための助成事業である「暮らしやすい地域づくり推進事業」を当事者団
体として普及し、助成事業を活用してバリアフリー整備などを行う予定の事
業者に対し、障害当事者の真のニーズを届けられるよう無料相談を受け付け
ていきます！

こんかい ほうかいせい いずみおおつし じよせいじぎょう いぎ ち
今回の法改正や泉大津市での助成事業がきちんと意義のあるものとして地
域に根差すよう、当事者だからこそできる取り組みを実行していきたいと考
えています。

ねん いずみおおつしぎかいぎいん かた つな ふか おお とく
2023年は泉大津市議会議員の方との繋がりを深められたことも大きな特
色でした。

ぎいん かた まね だい
議員の方をお招きし、プチタウンミーティングと題しパイオニアのスペー
スにて市政について学ばせてもらったり、逆に障害者メンバーのこれまでの

あいさつ ご挨拶

せいかつれき ちいき く うえ こま はなし
生活歴や地域で暮らす上での困りごとなどのお話をさせてもらったりしまし
た。

また、^{じっさい}実際に^{しょうがいしゃ}障害者と^{とも}共に^{まち}街へ^で出て^{ひつようせい}バリアフリーの^{たいかん}必要性について^{たいかん}体感し
てもらおう！ということで、^{ねん}2023年^{がつ}6月に^{しえいこうえん}オープンした^{くるまい}市営公園にて^{すたいけん}車椅子
^か体験を^{まちある}兼ねた^{おこな}街歩きを行いました。

^{ぎいん}議員の方からは^{しょうがいしゃ}障害者の^{じっさい}実際の^{こえ}声を^き聞くことで、^しこれまで^く知らなかつた^く暮
らしの^{ふくし}リアルや^{まち}福祉・^{かだい}街づくりの^{かんが}課題を^{かんそう}考える^{かんそう}きっかけとなつた^{かんそう}との感想を
もらうことができました。

その^{ほか}他の^{とく}取り組みとして、^{ぎいん}議員の方からの^{はっしん}発信で^{しんない}市内の^{しょうてんがい}商店街の^{かせいか}活性化と
その^{かんきようせいび}バリアフリー^む環境整備^むに向け、^{ぜひ}是非とも^{とうじしゃ}当事者の^{こえ}声を取り^い入れた^いたい！と
いう^{しょうてんがい}ことで^{かた}商店街の方たちによる^{わたし}ネットワークに^{なかまい}私たち^{なかまい}リアライズも^{なかまい}仲間入
りさせて^{なかまい}もらうことになりました！

このようにこれまで^{つな}繋がりが^{ちいき}なかつた^{みな}地域の^{であ}皆さんと^{であ}出会い、^{であ}さまざま
な^{とく}取り組みを^{いっしょ}一緒^{おこな}に行^{おこな}うことで、^{しょうがいしゃ}障害者の^{そんざい}存在を^{みちか}身近に^{かん}感じて^{とも}もらうと^{だれ}共に^{だれ}誰
にと^くとっても^{ちいき}暮らしやすい^{じっげん}地域の^む実現^{わたし}に向け、^{ちいき}私たちも^{ちいき}地域に^{こうけん}貢献^{こうけん}できたらと
^{かんが}考え^{かんが}ます。

一方、^{いっぽう}2023年度より^{ねんど}介助派遣などの^{かいじょはけん}体制が^{たいせい}大きく^{おお}変わ^かりました。^{あた}新しい
^{やくわり}役割や^{ぎょうむ}業務の^{ひきつ}引継ぎに^{ふんとう}奮闘する^{ひび}日々が^{いま}今も^{つづ}続^{かん}いてい^{かん}ますが、^{かん}それぞれへの^{かん}感
謝^{しゃ}の^{きも}気持ちや^{ねぎら}労^{わす}いを^{おも}忘れ^{おも}ずに^{おも}いた^{おも}いなと思^{おも}います。

^{ねん}2024年も^ひ引き^{つづ}続き^{みな}皆さんに^{おうえん}応援^{だんたい}してもら^{だんたい}える^{だんたい}団体^{ひびしょうじん}である^{ひびしょうじん}よう^{ひびしょうじん}日々^{ひびしょうじん}精進^{ひびしょうじん}し
て^{ひびしょうじん}いき^{ひびしょうじん}ます！

^{こんねんど}今年度^{ねが}も^{ねが}リアライズを^{ねが}どうぞ^{ねが}よろしく^{ねが}願^{ねが}い^{ねが}します！

しんねんど あいさつ スタッフより新年度ご挨拶



りじちよう だいひよう どうじしゃ
理事長/CIL代表/当事者スタッフ

つじた ななこ
辻田 奈々子(ななちゃん)

ねんど ぜんこく なかま あ じもと かた つな
2023年度は全国の仲間がたくさん会えたり、地元の方との繋
がり広がったり、前年度に掲げていた目標を達成できた
おも 思います！2024年度も周りをおも 頼りながら自分の力を発揮して
いきたいとおも 思います！

かいちよう どうじしゃ
会長/当事者スタッフ

みつい たかお
三井 孝夫(みっちゃん)



みなさま、こんにちは！

はや ねんど せつりつ ねんめ
早いもので2024年度で設立して17年目に入ります。

そして、当時20代だった僕もあつという間にアラフィフです。

ねんど ぜんこくじりつせいかつ きようぎかい じょうにんしん りじ
2023年度には全国自立生活センター協議会の常任委員(理事)
しゅうにん あら いじ
に就任させていただいたこともあり、新たなチャレンジに挑
たいとおも きよう ごろ
たいと思う今日この頃です。

じむちよう
事務長

よしい
吉井 ひかり(ひいちゃん)



じむちよう あたら やくしやく
事務長という、新しい役職になりました！ひいちゃんです
(・ x ・)

みぎ ひだり なか みな ちから が がん
右も左もわからない中ですが、皆さんの力を借りながら頑
ば 張っていきたいとおも 思います！

みな ねん おうえん ねが
皆さん、2024年もリアライズのことを応援よろしくお願
い します〜♡



せいかつかいごかんりしや
生活介護管理者

やまもと ひろし
山本 啓司(ひろし)

しんねんど あ
新年度明けましておめでとうございます！今年ことしは自分の幅じぶんを広ひろ
げるため、あたあたらら、ししげき新しい刺激きゆうしゆうを吸収こうししていくために公私こうしともにチャレ
ンジする気持ちきもを大切にたいせつ前進ぜんしんしていきたいと思おもいます！年としを経
たからなのか、どうしてふあんも、不安せんこうが先行せんこうしてしまうことあり
ますが…(笑)
しせいかつ しゆみ
私生活せいせいかつの趣味しゆみでは、ひがえ とざん はじ
日ひ帰り登山とざんを始はじめたので今年ことしは2泊3日はく かテ
ント泊登山はくとざん ちようせんに挑おも戦おもしたいなと思おもっています！

かいじよはけんかんりしや
介助派遣管理者

ほしの たかひろ
星野 貴大(ほっしやん)



しんねんど か じき
「新年度しんねんどのあいさつかなんて書かこう・・・」とこの時期じきになる
と、まいかいまいかいおな なや ちやくめん
毎まい回かい同じおな悩なやみに直ちやくめん面なやしてちやくめんおちやくめんりなやます。さて、今年度しんねんどから新あら
なやくわり役な割なを担しんきいてんうおもことになり、心機しんきいてん一おも転め！と思おもいつつ、すでに目め
ままえ ぶあつ かべ た
前まに分厚かべい壁たが立しんきょうちはだかあらっている心境せいちょうですが、新あらたに成せいちょう
きるきかいいおもい機しちねん会がんぼと思おもい一おも年おも頑おも張おもっておもいこうと思おもいます。

とうかつ
統括コーディネーター

かわぐち かずひろ
川口 和洋(はるお)



ねんど とうかつ だんせいじん
2023年度ねんどは、統括とうかつコーディネーターとして男性陣だんせいじんだけでなく、
じよせいじん
女性陣じよせいじんともやりとりを重かさね、これまでいじよう以上あじに味ぶかわい深いちねんい一年おもで
した。
りそう げんじつ はざま こころゆ うび きよう ござ
理想りそうと現実げんじつの狭間はざまで心こころ揺れ動うびく今日きようこの頃ござですが、最さいび後の最さいび
まで戦たたかい抜ぬきます！



コーディネーター

ふくい さえ
福井 彩英(まみー)

コーディネーターになって今年で10年目に突入しました。
あつという間の10年で驚いていますが、この10年をしっかりと振り返る1年にしていきたいと思います。
自分の時間を大切にして、人の時間も大切にできるように穏やかに生きていきたいです。
2024年もよろしくお願いします。

コーディネーター
ふじもと だいち
藤本 大地(てんちゃん)



こんにちは！てんちゃんことてんのすけです🥰
昨年度は色々な経験をさせてもらい、周りの方のおかげでより成長させて頂きました☆
今年度からコーディネーターという大きな役割を担わせてもらえることになり、喜びと不安が入り混じった心境ではありますが、また一回り成長出来るよう頑張ります！！

コーディネーター

あしむら こなつ
芦村 小夏(こなっちゃん)



こんにちは、浪速イチかわいルビバー芦村です。
今年度からコーディネーターとして活動させて頂きます！
体調に気をつけつつ、お酒も趣味も楽しみたいと思います。
緩急、緩急♥
末永くよろしくお願いします。



そうだんしえんいんかんりしや そうだんしえんいん とうじしや
 相談支援管理者 / 相談支援員 / 当事者スタッフ

にしとめ かずひろ
 西留 一浩(とめさん)

むすこ こうこう ねんせい むすめ しょうがっこうさいび がくねん しんきゅう
 息子は高校1年生になり、娘は小学校最後の学年に進級しま
 す。ますます親のおやのサポートが不要になっていく一方で、私たち
 ふうふう りょうしん とし かさ おや かいじ あたら
 夫婦の両親は歳を重ねており、いわゆる「親の介護」という新
 しいフェーズがスタートしました。

そうだんしえんいん こうほう とうじしや
 相談支援員 / 広報 / 当事者スタッフ

ちんぜい ゆうた
 鎮西 雄太(ちんちゃん)



かか ことし ねん むか むかし しやしん
 リアライズとの関わりも今年で10年を迎えました。昔の写真
 ふ かけ じぶん とし と おも うえ ぶ
 を振り返ると自分も年を取ったなあと、主におでこから上の部
 ぶん み かん わら とし と かつ いた
 分を見て感じます(笑)これから”も”れい年の取り方をしていけ
 るよう頑張っていきます！

こうほうじぎょうせきにんしや かいじよ
 広報事業責任者 / 介助スタッフ

きたむら みつる
 北村 充(むー)



さいきん ただんたい かつ ほっしん
 最近是他団体の方から「リアライズの発信すごいですね！」とい
 こえ した かん じょうほうほっしん
 う声かけを頂くことがありうれしく感じています。情報発信は
 ひび つ かせ だいじ じっかん でき いちねん
 日々の積み重ねが大事だと実感することが出来た一年でした。
 こんねんど ちい おお ひび
 今年度も小さなことから大きなことまで日々リアライズのことを
 ほっしん おうえん ねが
 発信していきますので、応援よろしくお願ひいたします！

ひじょうきんとうじしや
 非常勤当事者スタッフ / パイオニアメンバー

おかだ のりゆき
 岡田 憲幸(おかちゃん)



おうえん
 いつも応援ありがとうございます！
 つよ かつどう つつ
 ねばり強く活動を続けていくためにはやっぱり、オモロさややり
 ひつよう おも
 がいが必要だと思っています！
 さいきんいづみおおつし いろ と く おこな
 最近泉大津市でも色々なイベントや取り組みが行われていたりし
 ますが、僕も負けずにオモロさを追求していきたいと思ひます！



かいじょ
介助スタッフ

かわばた のぶまさ

川端 延昌(のぶりん)

2023年度はリアライズ合宿であつたり交流会を開いたり、コ
ロナ禍では断念していたことが段々とできるようになってきま
した。2024年度も引き続き出来ること、やりたいことを増やし
ていく年に出来ればと思います。皆様からもぜひご指導ご鞭撻
のほどよろしくお願ひします。

かいじょ
介助スタッフ

みなみ さおり

南 早織(さおりん)



いくきゆう へ ぶつかつ
育休を経て復活しましたっ!!

ぜんねんど にん こそだ てんしよくなど じゅうじつ ひび
前年度は3人の子育てやパートナーの転職等、充実した日々を
過ごしておりました♡

がつ がぞく ねが
4月からまた家族ともどもよろしくお願ひします★

かいじょ
介助スタッフ

にいざと しょうへい

新里 翔平(しんぺー)



みなさま
皆様こんにちはこんばんは。

さっこん にほん ねんし いろいろ お こころ いた
昨今の日本では、年始から色々なことが起こり、心が痛むよう
な思いでした。これから先はどんどん良くなっていくと信じ
て、日々頑張っていきたいですね。

ひつう おも
そんな悲痛な思いのときこそ、やはり『impossible is
nothing(不可能なことは何もない!)』ではないでしょ
うか!!

みなさま
皆様それぞれマイペースで今年も頑張らしましょうー!

ことし ねが
今年もよろしくお願ひします!!

かいじょ
介助リーダー



まつもと しょうま
松本 翔馬(ししまる)

さくねん まえやく とし こと ことし ほんやく とし
昨年は前厄の年だったという事で、今年は本厄の年がきてしま
いまして汗
うんだめ ひ だいきよう みごと ひ あ
運試しに引いたおみくじも大凶を見事？引き当てましたwww
これ以上下がることはないと言え、今年も色々チ
ャレンジしていきたいと思っております。

かいじょ
介助リーダー

てらだ たつろう
寺田 竜郎(てらっしー)



こんねんど よ へんか とし おも
今年度は良い変化のある年にしたいと思います！
わたし
私としてもリアライズに貢献できるように。リアライズとして
しゃかい よ へんか こうけん ちゅうい
も社会に良い変化に貢献できるように。プライベートでも有意
ぎ いちねん
義な一年になるように！
あたま かいてん じかん むだ つが かつ みなお じゅうじつ
頭の回転や時間の無駄な使い方を見直してもっと充実させてや
ります！

かいじょ
介助リーダー



おおもり ともや
大森 智也(ほとちゃん)

わたくしごと ことし さい じぶん なか しょうじきがくせい
私事ですが……今年30歳になります。自分の中では正直学生の
ころ せいしんてき へんか かん きつ ひび
頃から精神的な変化は感じていけないのですが、気付けば日々が
す つい みそじ さ せま ねん
過ぎていき遂に三十路が差し迫ってまいりました。2024年は、
すこ としそうおう にんげん がんばら いら
少しは年相応な人間になれるよう……頑張れたら良いですよ。

かいじょ
介助リーダー

やまぐち はるき
山口 遥希(はるく)



こんねんど なにごと たい まえむ と く おも
今年度は何事に対しても前向きに取り組もうと思っております。
しっぱい ふ がかえ つぎ い かんが
失敗したら振り返り、次に活かせたらと考えてます！
しごと せっきよくてき うび いしき ことし
仕事でもプライベートでも積極的に動くことを意識して今年の1
ねん むだ す がんばら
年無駄なく過ごせるよう頑張ります！



かいじょ
介助リーダー

いけだ

池田 まどか(まどかさん)

さくねん じょうきん ねんめ さまざま まな こじんてき かこさいた
昨年は常勤1年目として様々なことを学び個人的には過去最多
でたくさん推しに会いに旅に出た1年でした。

ことし か お あい こと とくぎ ひとみし そつぎょう
今年も変わらず推しに愛を届けながら、特技の人見知りを卒業
できるようにいろいろな人とお話しをしてたくさんの人と繋が
りたいなと思います。

かいじょ
介助リーダー

あない
穴井

はるな
晴菜(なっつー)



どーも〜! なっつーでーす 笑

すこ じょうきん ねんめ さまざま まな こじんてき かこさいた
少しずつリアライズに慣れて、休みの日は近くの大津川の辺り

を走ってストレスを発散させてます 笑

きょねん がつ じょうきん ほとん たら
去年の4月から常勤として働かせてもらってからあつという間

に1年経ってびっくりしてます! なので後悔がないように日々

無理せず程々にやっていきます 笑

いじょう
以上! なっつーでした〜 笑

かいじょ
介助リーダー

そた

ゆうき

曾田 優輝(そたぽよ)



かいじょ ねん た ことし しんじん
介助リーダーとして1年が経ち、今年は新人2ndシーズンという

こと がんばり さくねんど ふけんこう せいかつ おく
事で頑張ります...! 昨年度は不健康な生活を送っていたので、

ことし けんこうてき せいかつ おく けんこう と もじ こと ことし ほう
今年こそは健康的な生活を送って健康を取り戻す事が今年の抱
負です。

さけ ほどほど
お酒は程々にします...



かいじょ
介助リーダー

みなみ かずよし

南 和良（かずよしくん）

ドォァースからの10年7億ドル契約を蹴って6月から常勤となり
ました。よろしくお願ひします。

昨年は家族も増えて濃い1年になりましたが今年はおだやかに過
ごしたい！たぶん無理！

なんとか無事に生き抜きたいと思ひます！

かいじょ
介助リーダー

たなか ひろゆき

田中 洋行（たなぴー）



常勤になってまだ一年経っていませんが、常勤になる前の何年
間よりも濃密な日々を過ごしたかもしれません笑

失敗も色々あり、皆さんの優しさに助けられることが多かった
です。今年の抱負は自分自身ももっと成長し、恩返しにはなら
ない微力かもしれませんが、力になれる様に精一杯頑張って
いきたいと思ひます！

かいじょ
介助リーダー

はまの ゆうし

濱野 勇志（スミス）



あ
明けましておめでとうございます！

去年から常勤になり、もう年が明けたのかと思うほど、早いで
す。笑

少しずつでも自分自身成長出来れば良いなと思ひ、今年の抱負
は勇ましい志という名前に合う人になる！と決めました。

今年もよろしくお願ひします！！

パイオニアメンバーより

しんねんど あいさつ
新年度ご挨拶



パイオニアメンバー

ふじばやし ゆきお

藤林 行夫(バヤシさん)

としあ そうそう じしん こじんてき とうなんかいじしん ふあん おお
年明け早々に地震があり、個人的に東南海地震への不安が大
きくなってきた今日この頃です。「今年(ことし)はもっと自分を大切
に!」をモットーに自分をセーブして決して無理(むり)はしないで
マイペースでやっていきたいと思(おも)っております。

パイオニアメンバー

もり ひろえ

森 寛絵(ひろえちゃん)



ねん わたし ほうふ けんこうてき たの あそ たの
2024年の私の包負は、「健康的に楽しみながら遊びつつ楽しむ」
ことです。

ことし りょこう い
今年こそは旅行に行きたいです!!

かがわ た ぜったい い
香川(かがわ)にうどんを食(た)べに行きたい!!!絶対(ぜったい)に行く!

こものつく たの ほん た い
小物(こもの)作りも楽しみたいし、いろいろなご飯(ほん)も食(た)べに行きたいです

ことし たの
今年(ことし)も楽し(たの)みます(*'▽`*)

パイオニアメンバー

やの りか

矢野 理佳(りかちゃん)



ことし ねが
今年(ことし)も、よろしくお願(ねが)いします。

さくねん たいちようぶりよう おお やす おお
昨(さく)年は、体調(たいちよう)不良(ぶりよう)が多く、パイオニアを休(やす)むことが多(おお)かったの
で今年(ことし)は、体調(たいちよう)管理(かんり)と、パイオニアの活(かつ)動(どう)を自(じ)分の(ぶん)ペースでや
っていき(おも)たいと思(おも)っています!

がつ あた ぶ たの
1月(がつ)からパイオニアに新(あた)しいメンバ(ぶ)ーが増(たの)えるので楽(たの)しみです。

にがて たの ことし
苦(にが)手(て)なことも楽(たの)しめるよう(ことし)に、今年(ことし)はな(たの)りたいです。

こんねんど ねが
今年(ことし)度もよろしくお願(ねが)いします。

パイオニアメンバー



ながた ゆうじ
永田 勇次(ながちゃん)

ことし いろいろちようせんでき 今年は色々挑戦出来たらいいなと思っています。プライベートでも活動でも挑戦していけたら自分がちょっとずつでも変わる気がするので成功を積み上げていきたいなと思います。今年もよろしくお願ひします。

New Member!!

パイオニアメンバー

やすだ かおる
安田 馨(かおるくん)



1月よりパイオニアメンバーになりました！
この1年でも色々な交流ができましたが、今後もさらに交流の輪を広げられれば良いなと思ってます。体の事もあるのであまり飛ばしすぎないようにやっていこうと思います。

パイオニアメンバー

New Member!!



たかがき ももか
高垣 百々香(ももちゃん)

みんなとしゃべりたい！
たくさんの人と！
パイオニアのいいなあと思った所は、にぎやかにしゃべっているところです！
これからよろしくお願ひします！

ねんど
2023年度にてリアライズを
そつぎょう
卒業するメンバーよりご挨拶
あいさつ



もとじむちよう
元事務長

ひえだ かずのり
稗田 一敬(ひえちゃん)

せつりつ かが ねん つきひ なが とうていかた
設立から関わり15年の月日が流れ、ここでは到底語れないほ
さまさま ものがたり ふ かが おも ひと
ど様々な物語がありますが、振り返って思うことはただ一
こと
言! 『ありがとう!!』という気持ちだけです。

どうしようもなかった僕が今あるのはCILとそこで関わってき
ひとたち
た人達のおかげです。

がつ ねん かな
3月でリアライズを離れることになりましたが、これからも繋
わ たいせつ
がりの輪は大切にしたいです。

いづれまた会いましょう! アディオス!!



もとかいじよ
元介助スタッフ

ひえだ
稗田 ひかり(ひかりん)



がつまつ ねんかん
3月末でリアライズを離れることになりました。この14年間、
ほんとう であ まな いま わたし きそ
本当にたくさんの出会いや学びがあり、今の私の基礎となっ
て
います。

じぶん たいせつ いばしょ おそ
いつも自分らしくいられる大切な居場所。これからもここで教
わたったように人を大切に、感謝の気持ちを大切に。
ひと たいせつ かんしゃ きも たいせつ

なが あいだ
長い間、ありがとうございました。



いずみおおつ

泉大津TRY Season3

ひと

まち

『人とつながる街づくり』

しどう

始動！！



いずみおおつ

泉大津TRYとは？

わたし いずみおおつ すす ねん かつどう
私たちがリアライズで泉大津市のバリアフリーを進めていくために、2015年より活動を
つづ いずみおおつ たび あら かつどう はじ
続けている泉大津TRYですが、この度おかげさまで、新たにSeason3の活動を始めてい
くことになりました！

い いずみおおつ いったいなん ひと おお おも
とは言っても、そもそも泉大津TRYって一体何やねん！？という人も多いかと思いま
す。

かつどう ふ かえ こん
・・・というわけで、まずはこれまでのSeason1とSeason2の活動を振り返りつつ、今
かいはじ かいまくしき しょうかい おも
回始まるSeason3の開幕式についてご紹介したいと思います！



いずみおおつ

泉大津TRY Season1

ねん がつ がつ
【2015年4月～12月】

「人とつながる街づくり」をテーマに、「お手伝いします」と書かれたステッカーを、
お店や公共施設の入り口の見えやすいところに貼らせてもらう活動を行いました。
(愛知県で行われている「愛知TRY」公認の活動です。)

このステッカーを貼ることにより、障害がある人をはじめベビーカーを使っている人
やご高齢の方、子どもなど何らかのお手伝いを必要としている人に、お店の人の「お手
伝いする」という想いが伝わり、誰もが使いやすいお店や公共施設が増えていくという
ものです。

訪れたお店には、障害がある人に必要な工夫についてまとめられたパンフレットも配
り、障害がある人についての啓発を行いました。8ヶ月間の活動の結果、約350軒中176
軒にステッカーを貼らせてもらうことができました。



てつだ
お手伝いします
ステッカー



いずみおおつ

泉大津TRY Season2

ねん がつ
【2019年1月～】

「人とつながる街づくり」をテーマに、Season1のステッカー活動に続くバリアフリー
活動として、泉大津市内のお店に募金箱を設置したり、毎月一回泉大津駅前街頭募金
活動を行ったりすることにより、泉大津市でのバリアフリーのネットワークをつくって
いくという活動です。募金箱を設置したお店に段差がある場合には、店頭を設置した募
金箱への募金や街頭募金活動で集まった募金でスロープを購入し、募金箱とあわせて設
置します。

「分野の垣根を越えて、泉大津の色々な人と一緒にバリアフリーをつくっていく」とい
うことを大切にしながら、他事業所や他団体、TRY活動の協力店舗の人、地元中学校
の生徒の皆さんと一緒に街頭募金を行ったり、登録ボランティアの人を募集したりしな
がら活動を行っています。

わたし かつどう と あ ねん がつ かんさい
 私たちの活動はメディアでも取り上げられ、2022年8月にNHKの「おはよう関西」と
 いう番組で活動の様子が取材・放映されました！活動にかける想いの語りのほか、お店
 に設置された募金箱の様子、お店の人がスロープをかけている様子、車イスを使ってい
 るメンバーがスロープで入店して食事を楽しむ様子などが放映され、より多くの人に広
 く泉大津TRYを知ってもらえるきっかけとなりました。

ねん がつ にち げんざい ぼきんばこせっちきょうりょくてんぼ けん せっちてんぼ けん てんとう
 2023年12月31日現在、募金箱設置協力店舗は19軒、スロープ設置店舗は15軒、店頭
 募金箱への募金総額は160,798円、街頭募金活動での募金総額は585,438円、その他の
 協力金等を含めた総協力額は877,580円となっています！！地域の皆さんのアツい想い
 に大変心打たれながら、活動を続けています！

ぶん おかだ
 文：岡田



いずみおおつ つづ かつどう かいまく
 泉大津TRY Season1,2に続く活動として、Season3が開幕しております。もちろんこれまでの活動の「人とつながる街づくり」をテーマに受け継いだ活動で、障害のある人にとって必要な配慮やバリアフリーについて、広く地域の皆さんに知ってもらい、誰もが暮らしやすい街づくりの推進を行っていきます。

あらた かつどう はいけい ほんねん がつ
 新たにSeason3として活動を始める背景には、本年4月より障害者差別解消法の改正により、一般のお店など民間事業者にも合理的配慮の提供が義務化されるということがあります。

またこの法改正に先駆け、泉大津市でも2023年5月よりお店などのバリアフリー化を促進する取り組みとして「泉大津市暮らしやすい地域づくり推進事業」が始まっていました。



しかし、この法改正や市の事業が始まっているのに、やはりまだまだ広く一般に認知されているわけではありませんでした。

このことをもっと広めて地域のバリアフリーを進めたい！障害のある人にとっての必要な配慮を知ってほしい！そして、リアライズでは地域のバリアフリー推進の活動として泉大津TRYがあるじゃないか！

そんな思いが重なり、泉大津TRY Season3として新たに活動を展開することを決めたのでした。



ぐたいてき かつどう ないよう

具体的な活動の内容としては、

- ①「泉大津市暮らしやすい地域づくり推進事業」を広める！
- ②障害のある人にとっての必要な配慮やバリアフリーの在り方を広げる！
- ③障害のある人にとっての必要な配慮やバリアフリー化を行うためにはどのようにすればいいのかの相談を受ける！

①、②を実行するために市内のお店を訪問し、市の助成事業のことや法改正のこと、必要な配慮やバリアフリーについてチラシやリーフレットをお渡しし、丁寧に説明させていただきます。そして、③ではバリアフリーに向けて動いてくださるお店の力になり、なんちゃってバリアフリーにならぬようサポートさせてもらおうという取り組み内容です。



今回のSeason3では多様な障害のある方に向けた配慮やバリアフリーにしていかななくてはならないのですが、リアライズでは聴覚障害者や視覚障害者と直接の関りがあまりなく、知識が浅かったり、そもそも合理的配慮というものについても学び直さねば！という状態でした。

そこで、それぞれの障害当事者の方をお招きして勉強会を開催したり、内部での研修会で改めて合理的配慮を学び直したりと、この機会を通じてスタッフやメンバーみんなが、知識を深めて、それをお店の人に伝えていくということが経験できるのが大きなと感じました。

そして、ご協力をいただいた障害当事者や他センターの皆様との繋がりの強さと関心の高さに、改めて感謝しました。

文：鎮西



いずみおおつ

泉大津TRY Season3

かいまくしき

みち

つじたしてん

開幕式までの道のり

～辻田視点～

たくさんの方との繋がりやご支援のなか、
Season 3 始動に向けた準備を進めてきました
が、この新たな取り組みを盛大に盛り上げよう
ということで、去る1月15日(月)にテクスピア大
阪(泉大津市)でSeason3の開幕式を開催しまし
た！



この開幕式に向けて、泉大津TRY実行委員会
では会場調整や講師依頼、チラシ作成など約5ヶ
月前から準備してきました。



また実行委員会だけで温めておくのは勿体な
い！ということで、リアライズのメンバーが一
丸となって今回の開幕式を成功に導くべく、2ヶ
月前頃より全体に向けてSeason3の趣旨の共有
などを行ってきました。



中でも、開幕式には地域の方にはたくさん来て
頂きたい！ということで周知活動に力を入れる
こととし、メンバー総動員で地域のお店や福祉
事業所へ周知に回りました！



また先述のように、訪問する際に法改正や助
成事業の内容をきちんと理解し、自分の言葉で
先方の方に説明できるよう、合理的配慮に関す
る内部学習会も開催しました。



このように当事者や一部のスタッフだけではなく、
日頃介助の現場で活躍してくれているス
タッフも巻き込んで準備を進めてこられたこと
で、開幕式にはアツアツの一体感をもって臨む
ことができました！



いよいよ、開幕式当日！みんなで一丸となって準備をしてきた開幕式！
会場には総勢140名もの方が参加して下さい、満員御礼となりました！

日頃からお世話になっている大阪府内の自立生活センターの仲間はもちろん、愛媛や愛知、兵庫など大阪府外の自立生活センターからもたくさんの仲間が駆け付けてくれました。



そして、みんなで取り組んだ周知活動が功を奏したのか、泉大津市内や近隣の飲食店などからマスターをはじめ従業員の方々、市民活動団体の方、福祉事業所の方など幅広い方々に来て頂き、地域の人たちの関心の強さを感じました。



また、泉大津市議会議員の方、NHKや毎日新聞といったマスコミの方も取材に来て下さり、この取り組みを広く発信できるきっかけをつくって頂きました！



前半の第1部では、これまでの泉大津TRYの活動報告を辻田・岡田よりさせて頂きました。続いてNHK Eテレ「バリバラ」でお馴染み玉木幸則さんより2024年度からの障害差別解消法の法改正について、泉大津市の障がい福祉課の方より「暮らしやすい地域づくり推進事業」についてお話し頂きました。普段、運動や障害のある人にまつわる法律制度に馴染みのない方にも分かりやすくお話し頂き、会場からもたくさんの質問が挙がりました。



後半の第2部ではグループに分かれて、参加者の皆さんと会場周辺のお店を周って周知活動をし、泉大津駅前PR活動を展開しました。



極寒の中ではありますが、それを跳ね除けるように各々が市民の人たちに向けてアツいPRを繰り広げました！

【開幕式を終えて…】

たくさんの地域の方、自立生活運動の仲間と共に幸先の良いスタートを切ることができた泉大津TRY Season3！泉大津にこれほどまでの障害当事者が集結し、市民の方にも運動に参画して頂くのはアライズ史上初めてだったかと思えます。

また障害者スタッフ、メンバーだけではなく、健常者スタッフも準備段階から携わり、合理的配慮に関する理解を深めながら周知活動に取り組めたことも大変良かったと感じます。

障害者がぶつかる課題は社会の課題、そしてみんなの課題ということで、誰しものが自分事としてSeason3の取り組みを自分の中に落とし込み、主体的に取り組めたことはアライズにとって大きな前進でした！

【今後の課題とビジョン】

開幕式以降、2024年2月1日時点で計4回、およそ80店舗への訪問を終えています。しかしながら、助成事業への申請に至った事業者さんやバリアフリー化などに関するご相談を頂いた事業者さんはほんのわずか…というお寂しい状況です。

理由はさまざまですが、私たちの力不足はもちろん、障害者との“出逢い”がまだまだ少ない、身近な存在となっていないのが大きな背景にあると思います。

この状況を鑑み、訪問して終わりということではなく、その後のアプローチやアライズメンバーによる実際のお店利用など、関係を絶やさないことが必要です。

「障害者が街に出れば差別が向こうからやって来る」という嘗ての先輩障害者のお言葉があります。

バリアフリーが浸透しつつある現代、大きな差別体験はなくなりつつあるものの、それでも起こり得る摩擦を乗り越えながら、障害者が当たり前そこにいる街、自立障害者が溢れる街をいかにつくっていくか、今後の私たちの取り組みに掛かっていると考えます。

泉大津を誰にとっても暮らしやすい街にしていけるよう、地域に根差したTRY活動をこれからも継続していきます！応援、よろしくお願ひします！

じりつしえん かん とく くり 自立支援に関する取り組み



リアライズでは様々な当事者と日々関わりがあり、その関わりの中で親元や施設を離れ、「自立した生活」を送りたいという思いを持った方の応援や支援を行っています。そして昨年度、リアライズと長年関わってきた2名の方が自立生活をスタートいたしました。

今回はその2名の方と、リアライズでは古株である森寛絵さん（以下ひろえちゃん）の今年度自立生活10周年を迎えるにあたっての特集記事を組ませていただきました。自立生活1年目の方達と自立生活を長年続けてきたひろえちゃん、この当事者3名に長年関わってきたリアライズのスタッフの想いとは？

それぞれの当事者に対する想いや、これまでに至る経緯など、様々な想いが詰まった記事となっていますのでぜひご一読ください！

おおばやし なおき じりつ 大林直喜さんの自立について

文：藤本 ふじもと なおき

リアライズと長く関わっている当事者の一人である大林直喜さん。（以下、直喜くん）生まれ育ったこの泉大津で永らく家族と暮らしてきましたが、昨年ついに自立し一人暮らしをスタートさせました！

そんな彼も最初から一人暮らしをしたい！と思っていたかということ、実はそうではありませんでした。

では、どのような経緯で自立に至ったのか、そして現在までどういった取り組みをしてきたのかをお話させていただきます。

なおき いどうしえん りよう
直喜くんはこれまで移動支援を利用し、
リアライズと関わりを続けてきました。
さいしょ うち とうじかいじょ はい かいじょしゃ
最初の内は当時介助に入っていた介助者
ひとりぐ と
から「一人暮らししてみいひん？」と問わ
れてもあまりピンとこない様子でした。

おな しつもん つづ
そうして同じ質問を続けているとある
とき ちが はんのう きょうみ しめ
時、いつもと違う反応があり興味を示すよ
うになってきました。

りゆう なん ほ さ
その理由が何なのか掘り下げていくと、
すうねん まえ かぞく かんけい へんか
数年ほど前から家族との関係が変化したこ
とで本人の心境にも変化があったようでし
た。

ほんにん おやご
それなら！ということでもまず本人の親御
まじ はなし じりつ む と
さんを交えてお話をし、自立へ向けた取り
く ほんかくてき
組みが本格的にスタートしました！



かてい へ ねん がつ
そういった過程を経て2021年の12月から
たいけんしつ か たいけんしゆくほく ほじ
リアライズの体験室を借りて体験宿泊を始
め、その頃から自分も介助者として本人と
かか はじ
関わり始めました。

さいしょ ばく か まいつきけい
最初は1泊2日からスタートして、毎月継
ぞくてき じりつたいけん いちにち す
続的に自身体験をしてもらい、一日の過
かた いっしょ かんが すいじ せんたくなど ふ
し方を一緒に考えたり、炊事や洗濯等の普
だんいえ かいじょ
段家ではしないことにチャレンジし、介助
しゃ ほんにん ひとりぐ も
者として本人に一人暮らしのイメージを持
ってもらうためのサポートをしました。

ほんにん けいけん く かせ
本人もそういった経験を繰り返していく
ひとりぐ いよく じょじょ つよ
うちに一人暮らしの意欲が徐々に強まって
だんかい ふ いっかい しゆくほくきかん
いき、段階を踏みながら一回の宿泊期間も
ばく か なが じっさい せいかつ そう
3泊4日、6泊7日と長くして実際の生活を想
てい と く すす
定して取り組みを進めていきました。

そんな最中、コーディネーターや相談員と家探しを進めていると、タイミング的に丁度いい物件が見つかり、2023年の5月から一人暮らしをスタートさせることが決まりました！

そこからは実際暮らしていく中で必要な家具・家電を本人とやり取りしながらリストアップし一緒に購入しに行ったり、電気・水道・ガスなどのライフライン、そしてインターネットなどの契約手続きをしたり等、一人暮らしを始められるように本人と一緒に考えて決めるサポートを行いました。そんな甲斐もあり、ようやく念願の一人暮らしを始めることが出来ました！



現在は、介助を使いながら日々様々なことにチャレンジしている直喜くんですが、まだまだ本人がイメージし辛い部分は介助者のサポートが必要不可欠です。

そのサポートをする人達の一員として、引き続き支えていけるよう精進していきたく思います。





ももせ ゆう 百瀬 悠さんの自立について

ぶん かわぐち
文：川口

ももせ ゆう いか ゆう しんたい ちてき じゅうど しょうがい じゅうしょうしんしん
百瀬 悠さん（以下、悠くん）は、身体と知的に重度の障害のある重症心身
しょうがいしゃ やかん ふく にちじょうせいかつ ばめん かいじょ ひつよう
障害者であり、夜間を含む日常生活のあらゆる場面に介助が必要です。

はつご むづか かいじょしゃ
発語によるコミュニケーションは難しいものの、介助者から
と たい とき みぎて ちい あ
の問いかけに対して「はい」の時は右手を小さく挙げ、
「いいえ」の時は首を振って教えてくれます。

はつご おぎな
発語を補うコミュニケーションとして、コミュニケーション
もち じぶん おも しゅうい はっしん
ボードやジェスチャーを用いて自分の想いを周囲に発信し
ます。



ひょうげん かなら ひと おも しめ
しかし、その表現が必ずしも一つの想いを示すとは
かぎ
限りません。

しゅうい じょうきょう そうごうてき かんが ほんだん
悠くんのことや周囲の状況を総合的に鑑みて判断
し、より多くのおお そうてい
の想定をしながらコミュニケーションを
ひつよう
とっていく必要があるため、コミュニケーションに時
かん よう
間を要します。

しゅうい ひと たい じぶん きも つた
また、周囲の人に対して自分の気持ちがうまく伝わらない、
つよ つた おも からだ ぞ おお
強く伝えたいという想いがあるときは、身体をのけ反らせて大
こえ はっ ぜんしん つか ひょうげん
きな声を発し、全身を使って表現します。

ゆう かか ひと にちじょうてき しせん ひょうじょう
悠くんに関わる人それぞれが日常的に視線、表情や
たいどなど き かれ おも きづ
態度等を気にかけることで彼の想いに気付くことがで
きます。

たん み まわ かいじょ
そのため、ただ単に身の回りの介助をすればいいの
ゆう ばめん できごと きょうゆう
ではなく、悠くんといろんな場面や出来事を共有し、
りかい ふか なが かか つづ ひと せんざい か
理解を深めながら長く関わり続けてくれる人たちの存在が欠かせません。



そんな悠くんが、一人暮らしに至るまでの経緯を簡単にでは
ありますが、ご紹介させていただきます！

リアライズが設立して間もない頃、悠くんと両親に出会
いました。悠くんや両親から「年齢の近い介助者に来て欲
しいこと」「継続して地域生活が送れるように取り組んで
いきたいこと」これらの希望を受け、介助派遣を開始
することになりました。

最初は、移動支援の利用から開始して介助者といろんな
場所へ外出し、多くの出来事を共有しながら経験を積み
重ねていきました。

翌年、悠くんの両親が腰痛を患い、両親の介護力に
頼った暮らしを継続していくことが困難になってい
く一方で、介助者が担える部分が増えてきたことか
ら、将来を見据えて取り組んでいくことになり、
重度訪問介護へサービスを切り替えることにな
りました。

当時のことを両親と振り返った際、悠くんが家族
以外の人とコミュニケーションがとれていること
に驚いたという話がありました。
そうした姿も両親の気持ちを後押ししたのでは
ないかと感じています。

最初は、入浴介助や通院介助等、これまで両親
が担ってきた部分を少しずつ介助者が担って
いきました。

当時の悠くんは、介助者と介助が思うように
いかなかったり、想いがうまく伝わらなかったりと、
すぐに両親を呼び出していました。



かいじょしゃ りょうしん たよ ゆう
介助者としては、両親を頼らずとも悠くん
せいりつ しこうさくご
とやりとりを成立できるよう、試行錯誤する
ひび れんぞく
日々の連続でした。

かいじょしゃ ひび す なか ゆう
介助者と日々過ごしていく中で、悠くんも
かいじょしゃ せいかつ じしん はじ
介助者との生活に自信をつけ始めていきま
した。

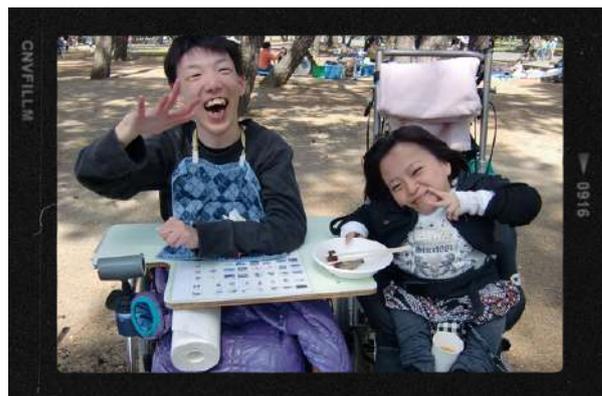
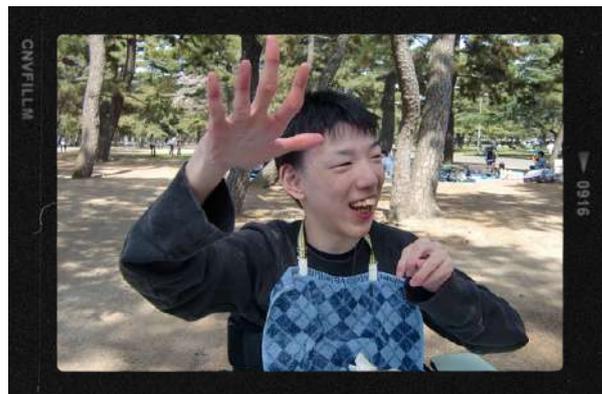
なか かいじょはけん りょう
そんな中、リアライズの介助派遣を利用し
せいかつ じりつしょうがいしゃ であ えいきょう
て生活している自立障害者との出会いに影響
う ひとりぐ たい い
を受けたこともあり、一人暮らしに対する意
よくてき しせい み はじ ゆう りょうしん
欲的な姿勢が見え始めたため、悠くんや両親
はな あ けっか ねん なが ねんげつ
とも話し合った結果、10年という長い年月を
すこ と く
かけながら少しずつ取り組んでいくことにな
りました。

ご じりつたいけんしつ ぱく
その後、リアライズの自立体験室で2泊3
か しゅくはくたいけん まいつきく かえ おこな
日の宿泊体験を毎月繰り返し行いました。

しゅくはくたいけん かいすう かさ な はじ ころ ゆう
宿泊体験の回数を重ね慣れ始めた頃、悠く
ひとりぐ きぼう じりつたい
んが一人暮らしを希望していたことや自立体
けんしつ と く な した じ
験室で取り組んできたことを慣れ親しんだ自
たく じっせん りょうしん ねが
宅で実践してほしいという両親の願いから、
かいじょはけん りょう じかんたい りょう
介助派遣を利用している時間帯は、なんと両親
しん べつ す か べつたく す
親が別に住まいを借りて別宅で過ごすとい
けつだん
った決断をしました。

せいかつ たいはん な した じたく
そのため、生活の大半を慣れ親しんだ自宅
かいじょしゃ いっしょ す せいかつ かいし
で介助者と一緒に過ごす生活を開始すること
になりました。

りょうしん にな ぶぶん すこ かいじょしゃ
両親が担ってきた部分を少しずつ介助者へ
いこう と く かい
移行していけるように取り組んできた甲斐も
じかん と く けっか
あり、時間をかけて取り組んできた結果、つ
とき おとず
いにその時が訪れました。



ひとりぐ む と く やく ねん な した じ
 一人暮らしに向けて取り組んで約10年、慣れ親しんだ自
 たく いずみおおつ ひ こ ひとりぐ かいし
 宅から泉大津のマンションに引っ越し、一人暮らしを開始
 することができました。

これまで、悠くんのことを巡って両親と想いの違いがあ
 つとはな あ かい よ きょうりよく
 ったときはその都度話し合ってきた甲斐もあり、良い協力
 かんけい きず あ でき ゆう しんらいかん
 関係を築き上げることができています。悠くんと信頼関
 けい こと りょうしん しんらいかんけい ゆう せいかつ ささ
 係もさる事ながら、両親との信頼関係も悠くんの生活を支
 うえ か
 えていく上で欠かせません。



ひとりぐ とうじ じゅうぶん しきゅうりょう で
 一人暮らしをするにあたって、当時は十分な支給量が出
 ひていけいしんせい つう ぎょうせい しんさかい かた
 ていなかったため、非定型申請を通じて行政や審査会の方
 りかいいただ けっか じかん しきゅうりょう みと
 にご理解頂いた結果、514時間という支給量が認められま
 した。



かんきょう へんか さいしよ とまど なや
 環境の変化から、最初は戸惑ったり悩んだりすることも
 ありましたが、すぐに彼も慣れ始め、生活も落ち着いて
 ひびかいてき す
 日々快適に過ごすことができました。



へいじつ たの せいかつかいご かよ きゅうじつ じたく す どうが
 平日は楽しく生活介護に通い、休日は自宅で好きな動画
 み ゆうじん じたく まね いっしょ
 を観ながらリラックスしたり、友人を自宅へ招いて一緒に
 す きず あ ちいき ひと
 過ごしたりしながら、これまで築き上げてきた地域の人た
 ちのつながりの中で生きています。

ゆう えがお
 悠くんがこれからも笑顔
 た す な ち
 絶やさず、住み慣れたこの地
 いき ひと
 域でいろんな人とのつながり
 なか い
 の中で生きていくことができ
 るよう力を尽くしていきます。



■2024年で自立生活10周年になりますが、今どんなことを思いますか？

もり
(森)

あつという間ではあったけど、何事も継続していくのは大変だなと思います。思えばいろんな人に自分のやりたいことを伝えていく温度感が年々分からなくなってきたかな。若い頃は、あれもこれもやりたい！とっていて、やりたいことを言うだけで良かったけど、今はそれをするための準備とかいろんな事を考えてしまって、躊躇してしまう自分がいますね。

つじた
(辻田)

躊躇してしまうことはあると思いますが、どうすれば「やろう！」と思えるようになりますか？

もり
(森)

それはまだ分からないですね。やりたい事を見つけるのが今は大変で、心と身体が今は付いていないことが多いので、自分でも「どうしたん？」とっていますね。

■この10年で変わらずにやってきたことは何ですか？

もり
(森)

朝ご飯をきちんと食べていることですかね。ご飯ではなくパン派なんです！コーヒーも絶対飲んでます！そうすることで新しい一日を迎えよう！という気持ちになれます。あとはお風呂に入るときは必ず入浴剤を入れるということは続けていますね。

リアライズのSNSにて当事者のこだわりシリーズの中でも取り上げてもらいました。

最近スヌーピーとバブがコラボした入浴剤を買って入れています。

お花系ではなく、柑橘系の香りが好きです。

■逆にこんなことが変わったなーということはありませんか？

もり
(森)

記憶力が落ちたなーと。あとは、世代的に先輩だからというので自分の意見を求められるようになったなと思います。

元々は自分の意見をもっている方だと思っていたけれど、こんなにも制度とかが複雑になってきたから、自分の意見ってこれで良いのかなと思ったりがふえたかなー。変化が付いていくのが大変で、自分の意見をもっておくのも大変やなと思います。

■この10年、いろいろあったとは思いますが、一番しんどかったことは何ですか？

もり
(森)

介助者に自分の想いを伝えていくことですかね。

「どうしたいですか？」と聞かれるので答えるけれども、その意味を理解してもらうのに時間がかかることですかね。何かこれといったエピソードというよりは、日々のやり取りといった感じですかね。自立生活は続けていきたいけど、自己責任というのをどこまで自分はとっていきけるのかなと思うときがありますね。

つじた
(辻田)

逆にどうやったら安心して(責任を)背負っていただけますか？

もり
(森)

それはまだ模索中ですね。これ！っていうのがあれば良いですね。



パイオニアメンバーで箕面大滝へ観光



■この10年で一番良かったことは何ですか？

もり
(森)
旅行とか行けるようになったのがまずは良かった
なと思います。いろんな事を選んで決めていく
うで、自分の想いを伝えてできるようになってい
けたことが良かったなと思います。旅行以外にも
会いたい人に会いに行けるようになったことや、
みんなで気軽に集まれるようになったことが良
かったことと思います。

■今後、例えば10年を見据えてこういうところは
大事にしていきたいというのがありますか？

もり
(森)
おもてなしなどはめっちゃ苦手だけど、人と関わる
ことは好きなので、続けていきたいと
思います。
自立支援などはこんな自分でもできるのかなと思
うけど、やってはいきたいなと思いますね。人も大
事にしていきたいけど、自分自身と向き合いなが
ら自分のことも大事にしていきたいですね。

■この先、10年で新たにチャレンジしたいことは
何ですか？

もり
(森)
香川にうどんを食べに行くことですかね。あと
は、推し活ですね！スヌーピーに囲まれて一年く
らいゆっくり過ごしてみたいですね！スヌーピー
ミュージアムやスヌーピーのイベントにいっぱい
行ってみたいですね！日本全国を遠征したいで
す。お金を貯めないといけないですが(笑)

■日頃の生活を支えてくれている介助者に今、伝
えたいことは何ですか？

もり
(森)
私自身が楽しいと思えることを一緒に共有してい
けたら良いなと思います。一緒にいろんな経験を
積んでいきたいですね。
これからいろんなことがあると思うけど、未永
くよろしくお願いします！



Profile

もり ひろえ
森 寛絵

1983年2月12日大阪市生まれ

大阪府立岸和田支援学校 卒業

趣味：スヌーピー・映画鑑賞・
音楽鑑賞 (特にKREVA)

2014年11月から自立生活を開
始。現在は泉大津で一人暮らしを
している。

色々などころに出かけるのが好
きて、今後の目標は香川にうどん
を食べに行くこと。

【寛絵さん 自立10年を振り返って】



「コーディネーターより」

吉井・福井

リアライズで自立生活を始めて10年がたった寛絵さん。
 介助者として自立に携わり、コーディネーターとしていろんな場面を共にしてきた10年。
 1番近い所で関わってきた吉井、福井からこれまでを振り返って
 それぞれの「今想う事」を綴りたいと思います。

《吉井》

10年前、寛絵ちゃんも介助者に自分のやりたいことを伝えて生活を作っていくのは初めてのな中、経験もそんなにない介助者と自立生活をスタートして、
 今では資格講座で自分の経験を語っている姿を見ると一緒にやっているととても頼もしいです！
 シチュエーションも、一緒にオールしたことも、役所の方々とやりとりしたことも、引越しの日の朝のバタバタも、押し活も…。
 思い出は沢山ありますが、介助者と生活のことや、やりとりも含めて一緒に考えていくことについて、私にとっては
 いろんな経験をさせてもらいました♪
 介助者として自立の取り組みに初めから関わらせてもらったことが、とてもありがたいです！



ふくい
《福井》

いまおも
今思うと、あつという間だったなと感^{かん}じます。
ひろえさんの^{かいじょ}介助^{はい}に入り^{とうじ}だした^{だい}当時は^{がくせい}わたしは^{おも}まだ10代で^{おも}学生^{おも}だった^{おも}ので^{おも}何も^{おも}考え^{おも}ず、^{おも}ただ^{おも}目の^{おも}前の^{おも}ことを^{おも}こな^{おも}して^{おも}いた^{おも}だけ^{おも}の^{おも}よう^{おも}に^{おも}思^{おも}います。

とうじ
その^{かいじょ}当時^{はい}ひろえ^{ひと}さんの^{ほんとう}介助^{かたて}に入り^{おさ}だした^{おさ}人は^{おさ}本当に^{おさ}片手^{おさ}に^{おさ}収^{おさ}まる^{おさ}
ほどの^{おさ}人数^{おさ}で^{おさ}回^{おさ}って^{おさ}いて、^{おさ}来る^{おさ}日も^{おさ}来る^{おさ}日も^{おさ}ひろえ^{おさ}DAY。
「ただいまー」とひろえさんの^{おも}実家^{おも}に行^{おも}って^{おも}いた^{おも}のを^{おも}思^{おも}い^{おも}
出^{おも}します^{おも}ね。(笑)

なに
何も^{おも}ない^{おも}所^{おも}から^{おも}一緒^{おも}に^{おも}考^{おも}えて^{おも}い^{おも}って^{おも}自^{おも}立^{おも}が^{おも}ス^{おも}タ^{おも}ー^{おも}して、
その^{おも}うち^{おも}私^{おも}は^{おも}コ^{おも}ー^{おも}ディ^{おも}ネ^{おも}ー^{おも}タ^{おも}ー^{おも}に^{おも}なり^{おも}お^{おも}互^{おも}い^{おも}奮^{おも}闘^{おも}し^{おも}な^{おも}が^{おも}ら、
今^{おも}は^{おも}ど^{おも}ち^{おも}ら^{おも}か^{おも}と^{おも}い^{おも}う^{おも}と^{おも}続^{おも}ける^{おも}大^{おも}変^{おも}さ^{おも}と、^{おも}その^{おも}す^{おも}ご^{おも}さ^{おも}を^{おも}実^{おも}感^{おも}
し^{おも}て^{おも}い^{おも}ま^{おも}す。

とき
途^{おも}切^{おも}れる^{おも}こ^{おも}と^{おも}なく^{おも}自^{おも}立^{おも}生^{おも}活^{おも}が^{おも}続^{おも}いて^{おも}い^{おも}く^{おも}こ^{おも}と^{おも}は^{おも}本^{おも}当^{おも}に^{おも}凄^{おも}い^{おも}
こ^{おも}と^{おも}で^{おも}そ^{おも}こ^{おも}に^{おも}は^{おも}当^{おも}事^{おも}者^{おも}の^{おも}日^{おも}々^{おも}の^{おも}苦^{おも}惱^{おも}が^{おも}く^{おも}っ^{おも}つ^{おも}い^{おも}て^{おも}い^{おも}ま^{おも}す。

間^{おも}近^{おも}で^{おも}その^{おも}10^{おも}年^{おも}を^{おも}一^{おも}緒^{おも}に^{おも}過^{おも}ご^{おも}せ^{おも}た^{おも}こ^{おも}と^{おも}は^{おも}私^{おも}に^{おも}と^{おも}っ^{おも}て^{おも}は^{おも}と^{おも}も^{おも}大^{おも}き^{おも}な^{おも}も^{おも}の^{おも}で^{おも}し^{おも}た^{おも}。こ^{おも}れ^{おも}か^{おも}ら^{おも}も^{おも}時^{おも}に^{おも}爆^{おも}発^{おも}
し^{おも}な^{おも}が^{おも}ら、^{おも}ア^{おも}ッ^{おも}ペ^{おも}ー^{おも}ト^{おも}し^{おも}な^{おも}が^{おも}ら^{おも}過^{おも}ご^{おも}し^{おも}て^{おも}い^{おも}き^{おも}ま^{おも}し^{おも}よ^{おも}う^{おも}！



よしい ふくい ひろえ
《吉井&福井から寛絵さんへ》

ねん なか たっせい
10年^{おも}の中^{おも}で^{おも}達^{おも}成^{おも}で^{おも}き^{おも}て^{おも}き^{おも}た^{おも}こ^{おも}と、^{おも}苦^{おも}し^{おも}か^{おも}つ^{おも}た^{おも}こ^{おも}と、^{おも}い^{おも}ろ^{おも}ん^{おも}な^{おも}こ^{おも}と^{おも}が^{おも}あ^{おも}つ^{おも}た^{おも}と^{おも}思^{おも}う^{おも}け^{おも}
ど、^{おも}10^{おも}年^{おも}続^{おも}い^{おも}て^{おも}き^{おも}た^{おも}こ^{おも}と^{おも}が^{おも}す^{おも}ば^{おも}ら^{おも}しい^{おも}こ^{おも}と^{おも}で^{おも}す。

いま はし つづ
今^{おも}は^{おも}走^{おも}り^{おも}続^{おも}け^{おも}て^{おも}き^{おも}た^{おも}分^{おも}、^{おも}少^{おも}し^{おも}息^{おも}切^{おも}れ^{おも}も^{おも}あ^{おも}る^{おも}と^{おも}思^{おも}い^{おも}ま^{おも}す^{おも}が、^{おも}立^{おも}ち^{おも}止^{おも}ま^{おも}つ^{おも}て^{おも}ま^{おも}た^{おも}歩^{おも}い^{おも}て^{おも}い^{おも}
く^{おも}た^{おも}め^{おも}の^{おも}エ^{おも}ネ^{おも}ル^{おも}ギ^{おも}ー^{おも}を^{おも}蓄^{おも}え^{おも}る^{おも}期^{おも}間^{おも}も^{おも}必^{おも}要^{おも}で^{おも}す。

じき わら はな ひ く
この^{おも}し^{おも}ん^{おも}ど^{おも}い^{おも}時^{おも}期^{おも}も^{おも}笑^{おも}つ^{おも}て^{おも}話^{おも}せ^{おも}る^{おも}日^{おも}が^{おも}来^{おも}れ^{おも}ば^{おも}い^{おも}い^{おも}な^{おも}ー^{おも}と、^{おも}こ^{おも}の^{おも}先^{おも}の^{おも}新^{おも}た^{おも}な^{おも}10^{おも}年^{おも}へ^{おも}
向^{おも}け^{おも}て^{おも}ま^{おも}た、^{おも}み^{おも}ん^{おも}な^{おも}で^{おも}い^{おも}ろ^{おも}ん^{おも}な^{おも}時^{おも}間^{おも}を^{おも}一^{おも}緒^{おも}に^{おも}過^{おも}ご^{おも}し^{おも}て^{おも}い^{おも}き^{おも}ま^{おも}し^{おも}よ^{おも}う^{おも}。

【寛絵さん 自立10年を振り返って】

ひろえちゃん改めて自立生活10周年おめでとうございます。
まずひろえちゃんはパイオニアにとって、なくてはならない存在
ですね。

最初のころは、活動の得意、苦手が激しく、ときには逃
たくなることもありました。『きっとこれはみんなでした
いこと』、『パイオニアが大切にしていること』と聞き
ながら、苦手なこともチャレンジしてきたひろえちゃんの
姿は今でも思い出すときがあります。

それがきっかけで、「一緒に一つのことを成し遂げる」こ
との難しさをみんなで感じ、「一緒に一つのことを成し遂げ
る」ための工夫を考え始めたきっかけであり、それは今のパ
イオニアを作る土台となっているなど感じています。

僕は活動の中で障害者メンバーの気持ち、目線に立って考
えようと思いますが、やはり考え切れないことが多いです。

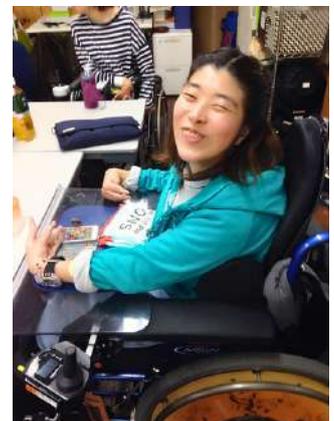
その時、ひろえちゃんによく相談させてもらいます。

ひろえちゃんからは、「自分の目線ではこう感じる！」とい
うことをストレートに言ってくれ、そのアドバイスは、ガツ
ンとくるものがあります。なかなかシャイで人との関係性を
作ったり、自分から積極的にしゃべっていく方ではない人で
すが、めちゃめちゃ周りやパイオニアの場のことを見ており、
その人の気持ちに立って物事を考えている人で、すごく頼らせてもらっています。

これから新しいメンバーが入ってくる中で、どんな活動がいいか、どういう風にみんなで一緒に活動し
ていくかを工夫をしながら、前に進んでいくと思いますが、ぜひひろえちゃんの意見やアイデアを活かし
て、これからもみんなの居場所であり、活躍できる場「パイオニア」を作っていきましょう！

生活介護パイオニアより

山本



けんしゅう べんきょうかい と く 研修や勉強会への取り組み

リアライズではスタッフのレベルが日々向上できるよう、また次世代を担うスタッフを育成するために、1年間を通して様々な研修や勉強会に取り組んでいます。

そのほんの一部ではありますが、現在リアライズが行っている研修や勉強会のご紹介をさせていただきます！



リアライズでは毎月1回、全スタッフと生活介護のメンバーが集まって「リアライズ共有会」を開催しています。そこでは、日々の活動の共有やリアライズをより良くしていくためのアイデアや取り組みたい活動などについてグループワークを通してみんなで出し合ってきました。

そこから打って変わって、2022年度はひろしさんプレゼンツで「リアライズの理念を知ること」や「自分が担っていききたい役割」などをテーマにし、年間を通して同じメンバーに分かれてグループワークを重ねてきました。

2023年度はこれを踏襲し、3つの年間目標をもって取り組んできました！その目標とはズバリ…

- ①リアライズのことを自分の言葉で伝えられるようになる
- ②自分には何ができるか考え、行動できる人になる
- ③次の人たちを育てていける人になる

です！

リアライズ共有会

きょうめつかい

ぶん
辻田

これらを達成できるように「自分にとってリアライズはどんな場所であるか？」を原点に「リアライズにとって自分はどのような存在でありたいか」を出し合い、これから出会う新たな当事者・介助者にリアライズのことをどう伝えていくかを考えてきました。

また、リアライズについて自分の言葉で語れるようになるために、長年中心で活動を引き張ってきた中堅メンバーのことをまずは知ろう！ということで、これまでの苦労やそれらをどう乗り越えてきたのか、なぜここで長く活動を続けているのかを中堅メンバーにアツク語ってもらおうコーナーもつくりました。

日々活動する中で外に対して求めるだけではなく、リアライズの理念を形にするために自分自身はここで何ができるのか、そのためにどう変わっていく必要があるのかに向き合い、その想いを受け継いでいける存在にそれぞれがなっていければ良いなと考えています！



現任研修

げんにんけんしゅう

リアライズでは年4回の現任研修を実施しています。現任研修とは、現在働いている介助者達に、新しい情報や必要な知識、役立つ技術等を知ってもらい、よりよい介助者ライフを送ってもらうための研修となっております。

当事者にも介助者にも楽で、快適な生活を送れる一端になればと思います。

第1回目は5月。「差別ってなあに」をテーマに、日常の中にある「これは、差別か？」という事例を挙げて「これは差別？差別じゃない？」を考えてもらい、それが差別だった場合はどうすれば解消されるかをグループで考えてもらいました。



↑研修を受けグループワークを行う様子

ぶん
かわばた
川端

その際、合理的配慮についても触れ、場面ごとで使われている配慮にはどんなものがあるかも、グループで挙げてもらいました。

例えば映画館、子どものために台が用意してあることからUDCastというアプリがあることまで数多くの配慮を挙げてくれました。

この研修を機に、日常の差別に気付く考え方があることや、それらはどうすれば解決できるのか考えられる介助者になってもらえたらと考え実施しました。



2回目はとても暑かった8月。講師に「NPO法人ばあとなあ」の代表・地村 貴士さんをお迎えして「虐待」についての講義をしてもらいました。

2022年度にも地村さんに講師をしてもらったことがありとても好評だったことから、今年度も引き続き依頼させていただきました。

前年度はデータや資料を基に法律の変遷や課題について講義いただきましたが、今年度は特に精神疾患のある方に対する虐待の現状や法律の変遷についてお話をいただきました。

重めのテーマではありましたが、重くなりすぎないように冗談も織り交ぜながらの講義はとてもおもしろく、またとても考えさせられる講義内容でした。

研修後は地村さんを交えてささやかながらも交流会を開かせていただき、少しの間ではありましたが、一緒に楽しい時間を過ごさせていただきました。

改めて地村さんお越しいただき誠にありがとうございました。
また来年度からもよろしく願います!(笑)



3回目はまだ暑さの残る10月。「人権と介助」を
テーマに、三井&川口が話す対談形式での講義でし
た。

「介助者は当事者が育てる」ことが大事だと言わ
れています。

確かに大事なことですが、そこには介助者自身に
も考えてもらう必要があるのではないかと
ころに焦点を当てての対談を行い、それを聞いて考
えたこと・感じたことをグループになって話し合っ
てもらいました。

新しい介助者にとっては目指すものとして、長く
続けている介助者にとっては自身の介助のあり方を
見つめ直す良い機会になりました。



最後の4回目は2月に行います（この記事は1月に執筆しています）

2023年度最後の現任研修はスタッフのみなで企画を考えて進めてきました。

「介助スタッフはどのように人間関係を構築してきたか」と称して、自身の経験を踏ま
えて相互理解のためのコミュニケーションの重要性を説きたいと思っています。

この報告についてはぜひリアルタイムのSNSをフォローして頂いて、2/18頃の記事を読
んでください！そしてぜひぜひフォロー、グッドボタンをよろしくお願いします。

新人スタッフ研修

しんじん

けんしゅう

2023年度の新人スタッフ研修は、前任の吉井から引継ぎ、川口が担当させていただきます。

新人スタッフ研修は、人材育成・定着を目的として2022年度より開始しました。介助者一人ひとりの成長へつなげるよう、2022年度の新人スタッフ研修は更にブラッシュアップした形で臨みました！

ということで、新人スタッフ研修をご存じでない方もいらっしゃるのではないかと、改めてご説明させていただきます♪

～新人スタッフ研修とは？～

1年目の常勤介助者を対象に実施。リアライズにおける各部門の役割や運動について研修プログラムを作成し、他センター等外部の団体にも協力してもらいながら、CILの特色や運動について学ぶ研修プログラムです。

新人スタッフ研修では、一年間の研修プログラムを通じて、「こんな介助者になってほしい！」という目的意識を持って取り組んできました。詳細は下記をご参照下さい^^

～新人スタッフ研修の目的とは？～

- ①リアライズの解像度を高め、リアライズのことを語れる人になる
- ②障害福祉制度や自立生活運動、自立の理念を知る
- ③リアライズの内外問わず、横のつながりを作る
- ④介助の質を高める
- ⑤自分たちにできることは何かを考える



新人スタッフ研修
～自立生活運動部門編～

ぶん
川口

2022年度に引き続き、リアライズ内部の理解を深めてもらうため、リアライズの成り立ちから各部門が取り組んでいる事業内容、過去から現在に至るまで取り組んでいる運動課題等を各部門の担当者に協力を得て紹介しました。

知識習得の研修だけではなく、グループワークやロールプレイ等の手法も用いながら、インプットするだけでなく、アウトプットする機会を設けながら考えて答えを出してもらえるように工夫しました。



外部の研修としては、現場でしか学べないことをたくさん吸収してもらうために、生活介護パイオニアが中心となって取り組んでいるフィールドワークやオールラウンド交渉、ピープルファースト大会といった活動の場面にも参加し、現場でしか感じることのできない臨場感や熱量を体感してもらいました。



また、日頃お世話になっている他センターや団体にも協力を得ながら、自立生活センターや自立生活運動に関する理解を深めつつ、交流を通じてつながりを築くことができる場を持ちました。

そして、お楽しみ企画と題し、上記に定めた目的を達成できるよう、どんな研修の内容を行うか、新人スタッフの面々と考え合って実践しました。



新人スタッフ研修を担当し、正直なところ、当初描いていたことの半分くらいのことしか出来なかったというのが本音ではありますが、僕自身も多くのことを学び、良い機会となりました。新人スタッフの一人ひとりが、今後のリアライズを支える次代の担い手となることを期待しています！

リアルライフニュースをお読み頂きました皆さま、新人スタッフともども、これからもよろしくお願ひ致します☆彡



ねんど おこな しんじん けんしゅう ◇2023年度に行った新人スタッフ研修◇

ひづけ 日付	けんしゅうこうもく 研修項目	けんしゅうしゃ 研修者
2023.6.26	オリエンテーション	かわぐち 川口
2023.7.5	リアライズの成り立ち	みつい 三井
2023.7.12	リアライズの事業内容と取り組み	つじた 辻田
2023.8.2	リアライズで取り組んできた運動課題	つじた おかだ ちんせい 辻田、岡田、鎮西
2023.8.2	オールラウンド事前学習会	せいかつかいご よしい ちんせい 生活介護パイオニア、吉井、鎮西
2023.8.29	オールラウンド交渉へ現地参加1日目	かわぐち 川口
2023.8.30	オールラウンド交渉へ現地参加2日目	かわぐち 川口
2023.9.	個人面談	かわぐち 川口
2023.10.11	本部事業部門	ひえた よしい 稗田、吉井
2023.10.11	生活介護部門	パイオニア
2023.10.13	ピープルファースト大会in大阪 全体会	かわぐち 川口
2023.10.14	ピープルファースト大会in大阪 分科会	かわぐち 川口
2023.11.21	ピープルファースト大会in大阪を振り返ろう!	かわぐち 川口
2023.11.22	相談支援部門&自立生活運動部門	にしとめ ちんせい 西留、鎮西
2023.12.11	介助派遣部門	かわぐち ほしの ふくい 川口、星野、福井
2023.12.25	振り返り&お楽しみ企画検討会	かわぐち 川口
2024.1.23	夢宙センター 訪問	むちゅう 夢宙センター
2024.2.5	いこらー・前編 訪問	いこらー
2024.2.20	いこらー・後編 訪問	いこらー
2024.3.7	日本自立生活センター 訪問	かわぐち 川口
2024.3.8	活動報告会で新人スタッフ研修の発表 &お楽しみ企画	リアライズ共有会

新人研修

しんじんけんしゅう

リアライズでは年2回、介助を始めて3ヶ月以上1年未満の登録介助者に向けて新人研修というものを行なっています！

この期間というのは、緊張もある程度抜けて、介助に慣れだしてくる期間で、その頃くらいから出てくる介助についての悩みや、困りごとなどを共有したり、相談して解決策を一緒に探していこうということを目的としています。



文 新里

2023年度は10月と2月に行う予定になっており、執筆時点の1月ではまだ1回しか行っていないので、まずは10月に行った研修をご紹介します！

2023年度第一回新人研修は10月29日(日)に開催。今回の研修会は、先輩介助者と当事者スタッフ(新里・芦村・鎮西)の3名からなるチームが担当者として研修会を実施させていただきました！

研修会の内容としては、リアライズが作成した「介助者に伝えたいこと」の冊子の読み合わせや、先輩介助者の当事者との関わり方の変化遍歴、当事者スタッフのマイトーク、グループワークなどを行いました！

参加者の皆さんは先輩介助者や当事者スタッフの話に真剣に耳を傾けてくれたり、グループワークでどんどん自分の意見を発表したりして、積極的に参加してくれていた姿が印象的でした。



パートナー制度は2022年度からリアライズで新たに導入した、介助者同士のフォロー体制のことで、

①対話や相談を通して介助を振り返り、気づきをきっかけに成長していく機会とする

②信頼関係の構築

③介助者の定着率向上

上記のことを目的とし、1年目の常勤介助者に対して2年目以降の常勤介助者が担当しています。

2023年度は6名の新人常勤スタッフが加わり6組のパートナーが誕生となりました★

パートナー制度

せいど

パートナー制度の中身としましては、

- 定期的な聴き取り、振り返り
- 介助の不安や困りごとを一緒に考えたり、介助現場に同行し不安の解消に向けて取り組む
- リアライズに還元できる学習会には積極的に参加
など、上記のことを積み重ねながら「なりたい介助者」に近づいていけるように1年間ともに頑張ってきました。

そんなパートナー制度も2年目になりましたが、初めてパートナー(先輩)を経験する介助者も、昨年経験した介助者もペアがかわれば考えることも変化します。

それぞれのパートナーがどんなことに悩み、また、どんなことを伝えていたらいいのか先輩同士振り返る機会を持ちながら進めてきました。

一緒に考え、話を聞いてくれる存在がいることは続けていく上でも大切なことであると同時に、伝えることでアウトプットの機会にもなります。

改めて互いに学び合う時間になっていけるよう、またブラッシュアップしていきたいと思えます。

ぶん
福井



たないちー&のぶりんへア



そたちちゃん&こなっちゃんへア



スミス&てんちゃんへア



かずよし&しんへア



なっつー&まみへア



まどかさん&はるおくんへア



ねんど 2023年度 さまざま こうりゅう リアライズの様々な交流をしょうかい

ねんど か あ たの きかい ふ ねん
2023年度はコロナ禍も明け、ようやくみんなで楽しめる機会が増えた1年でもあり
ました！

とうろくかいじよしゃ じょうきんかいじよしゃ とうじしゃ
リアライズの登録介助者と常勤介助者、そして当事者スタッフや、パイオニアメン
つな もくてき まいつきかいさい こうりゅうかい じょうきん いろつかい
バーを繋ぐ目的で毎月開催している交流会や、常勤スタッフをねぎらっての慰労会。
ねん かいさい がっしゆく ただんたい こうりゅうかい さまざま きかく
4年ぶりに開催したリアライズ合宿や他団体との交流会など、様々なイベントを企画
もよお でき
し催すことが出来ました。

こんかい いちぶ かいさい しょうかい たずさ
今回はそのほんの一部ではありますが、開催してきたイベントのご紹介とそこに携
わいイベントを実行してきたメンバーの想いをご紹介します！

こうりゅうかい リアライズ交流会

ぶん あしむら
文：芦村

ほんじつ み た あしむら こうりゅうぶもん しょぞく
こんにちは、本日も満ち足りている芦村です。交流部門に所属して
はや ねんはん とき た
早くも1年半の時間が経ちました。

ひと つど わたし みんな あつ もよお もの
人と集うことがLOVEな私はどうしたら皆が集まるか、どんな催し物
たの たの ひびこうそう ね かつどう
だと楽しんでもらえるのか、日々構想を練りながら活動しています♪

まじ つき かいじょうひら こうりゅうかい
こちらの記事では、月1回以上開かれるレギュラーな交流会につい
しょうかい
てご紹介します。

げんざい おかだ なが
現在メンバーはむーさん・岡田さん・のぶさん・永ちゃん・ハル
めい こうせい とくいぶんや い たの
ク・こなっちゃんの6名で構成されており、得意分野を活かしてより楽
こうりゅうかい つく じんりょく
しい交流会を作ろうとそれぞれ尽力しています。

あつ しき わ はなび みずあそ なつ も
 暑い時期にはスイカ割り・花火・水遊びの夏てんこ盛りパーティ、
 けいひんつ かそう とき
 ハロウィンには景品付き仮装パーティをし、またある時はプロのバー
 よ ほんかく あじ そつぎょう し
 テンダーさんをお呼びして本格カクテルをみんなで味わい、卒業の時
 き いま かつやく ひと ねぎら こ おく た
 期には今まで活躍してくれた人たちに労いを込めて送り出すパーティ
 ねん とお ほんとう おこな
 などなど、1年を通して本当にいろいろなイベントを行ってきました。

まいつきかいさい そつちよく ひと ほんとう むずか
 毎月開催して率直に…人をもてなすって本当に難しいです。
 ねんれい せいべつ ぜんいん ちが おな ぼ きょうゆう なか
 年齢も性別もキャラクターも全員が違う、でも同じ場を共有する仲
 ま よ しかん す
 間としてどうすればより良い時間を過ごせるのか、たくさんたくさん
 かんが
 考えます。

がい せいちょう かん
 でもだからこそやり甲斐も成長も感じます。

いまいちばんうれ さんかしゃ たの
 今一番嬉しいのは参加者が楽しんでくれること♡
 こうりゅうぶもん いちいん がわ たの あじ つ
 これからも交流部門の一員としてホスト側の愉しさを味わい尽くし
 おも
 てやりたいと思います！



いろいろかい リアライズ慰労会

ぶん ひえだ
文：稗田

コロナ期間！我慢の日々！！

長い戦いでしたが世の中もようやく落ち着いてきました。頑張
って活動しているスタッフ・パイオニアメンバーを対象に、初の
試みとしてリアライズ本部主催の慰労会を開催☆

ライフスタイルの変化で結婚や育児をするスタッフも増えてき
た中、これからも活動を全力で応援してほしいという想いで参加
者の家族も招いて行いましたが、子どもの参加も増えたことで本
当に賑やかになりました♪

8月は泉大津の海治いにあるN GRILLでBBQ、12月はパイオニ
アスペースで忘年会と2回開催☆

N GRILLは地面がフラットなので車椅子で移動しやすく、各々
好きな場所で交流できる場所です。

日頃リアライズのスタッフやパイオニアのメンバーは超真面目
なので、介助の話・活動の話・課題の話などリアライズ内で起き
る話をどっぶりすることが多いのですが、この時はいつもと違
い、それぞれ恋愛トークやプライベートの話などのゆる～い話を
熱く真剣に語り合う姿がそこら中で見受けられ、久々の光景だっ
たのである意味新鮮でした。

真夏の夜で海治いなのに無風で熱気に包まれていましたが、そ
れに匹敵する盛り上がりで本当に楽しい場となりました。

あじ し だいにだん がつ ぼうねんかい おこな
 その味を占め、第二弾として12月には忘年会を行いました。
 ぼしよ と みっしゅう
 場所がうまく取れなかったためパイオニアのスペースで密集して
 かいさい
 の開催でした。

ふだん せわ いずみおおつしない いざかや
 普段お世話になっている泉大津市内の居酒屋さんにオードブル
 ねが ごうか しょくじ た
 をお願いし豪華な食事を食べながら、NintendoSwitchやYogibo
 けい てん ごうかけいひん ようい たいかい おこな も
 など計10点の豪華景品を用意したビンゴ大会も行い、かなり盛り
 あ
 上がりました☆

こんかい ねぎら こんご かつどう いったいかん う おこな
 今回はみんなへの労いと今後の活動への一体感を生むために行
 きかく よそういじょう よ ぼ
 った企画でしたが、予想以上に良い場になりました。

ねんいこう こんかいよ とうろくかいじょしゃ ふく
 2024年以降は今回呼んでいなかった登録介助者も含めリアライ
 ぜんたい いったいかん も かつどう かんが こんご
 ズ全体で一体感を持って活動できたらと考えているので、今後も
 けいぞく おも
 継続できたらいいな~と思います。

これからさらに泉州を盛り上げていこうぜッ!!!



かつどうしょうかい パイオニア活動紹介

がっこうこうえんかつどう 学校講演活動

ぶん ちんざい
文：鎮西

パイオニアを中心として実施している学校講演活動は、地域の小中学校を中心に人権学習などの授業にお招きいただき、中学校では障害の捉え方や（合理的）配慮について、小学校では地域での私たちが暮らすのことや校内でのバリアに気付くためのFW（フィールドワーク）など、学年に合わせた内容で私たちがだからこそ伝えられることを意識して活動しています。



2023年度当初に地域を変えていくために最も重要なことが、私たち障害者のことをもっと知ってもらい、という意識を共有し、最終的に泉大津市内の小中学校全てと繋がりを作ることを目標に決めました。その手段として最適なのがこの学校講演活動です。



そして2023年度においては、まずは泉大津市内の小中学校11校中半分の学校で授業にお招きいただくことを目標に活動してきました。そして2023年度には見事、小中学校合わせて6校で講演をさせてもらえる見込みとなっています！



この活動では、生徒さんや先生と直接交流の機会ができるので、なかなか普段気づけない視点での感想や率直な質問を頂くことで私たちが考える機会が多くなり、よりパワーアップしていける実感を持てるのが嬉しいです。

そして何より生徒さんや先生から「ありがとう！」と感謝されることや学校外でも私たちのことを覚えていてくれて声をかけてくれるのがやがやがを感じます。

また学校での講演をきっかけとして、生徒さんたちの登下校を見守る活動にも繋がったのでご紹介します！



とうげこう みまも かつどう 登下校見守り活動

ぶん ぶんばやし
文：藤林

こんねんど かいし かつどう さくねんど がつ かみじょうしょうがっこう
今年度より開始した活動ですが、昨年度2月に上條小学校で
おこなった人権学習FW（フィールドワーク）がきっかけで始
めることができました。

ぼく むちゅう しょうがっこう みまも き じ
僕も夢宙センターで小学校の見守りをやっていると聞き、自
分もやってみたいとかねがね思っていたことだったので、実際
に出来るってなった時はすごく嬉しかったです。

じっさい じんざい かたがた ま
実際にシルバー人材センターの方々に混じってやってみる
と、人権学習をしたことで4年生を中心に挨拶や「この間来て
くれてありがとう」等声を掛けてくれる生徒も多かったです。

かいすう かさ あいさつ こえ か せいと ふ せけんばなし
回数を重ねると挨拶や声を掛けてくれる生徒が増え、世間話
や質問をしてくれるようになりました。

ご つづ ちいき かた ぼく にんち
その後も続けていると地域の方も僕たちを認知してくれたよ
うで「いつもご苦労様です。」等、声を掛けてくれるようにな
りました。

さいきん しょうがっこう め まえ ようちえん むか く りょう
最近では、小学校の目の前にある幼稚園のお迎えに来るご両
親や、近くにある中学校の生徒も挨拶をしてくれるようになり
ました。

つか こども げんき えがお
どんなに疲れているときも子供たちの元気いっぱいの笑顔や
しぐさを見ると、こっちも元気をもらえるような気がします。
やはり継続は力なんだと実感しました。

あらた つづ かつどう おも
改めて、これからも続けてやっていきたい活動だと思いまし
た。



ねん しんきかく

かつどう

2023年新企画アート活動

withアトリエSubaru



ぶん やまもと
文:山本

2023年度から新しくアートの活動をスタートしました！

泉大津市で色々な人とアートを通じて繋がっていききたい！という想いを
もったアトリエSubaruさんと一緒にこの企画を作ってきました。

自分たちがしたいものとSubaruからの「メンバーでコレやったらおも
ろいinchau?」ってアイデアを織り交ぜて、いろんな創作にチャレンジ
してきました。これまで作ってきたものは、藁文字を使ったカレンダー作
りやランプシェード作り、ハイター脱色？染めTシャツ作りなどなど…。

やっぱり自分たちの作ったものが最終的に見える形になるって素敵です
ね。特にランプシェードは、パイオニアの事務所に飾りたくなるほどでし
た、そして飾っています！脱色染めTシャツはうまく脱色できる？と不安
でしたが、おしゃれなタイダイ柄に大変身！おしゃれに着こなしました。
※永ちゃんは、ハイターの匂いで、過去の入所施設での暗黒時代を思い出
し苦しむ場面もありましたが(笑)



そして9月からは3か月にわたって大作？を手掛けています！きつこの
記事を皆さんが読んでいるときには、パイオニアに飾られているのでは
ないでしょうか？

■後日談

ぶっちゃけた話、「障害者×アート」には、良いイメージがない…。そ
んな想いで恐る恐る始めた企画でした。

しかし実際やってみると、メンバーもスタッフもこの活動を好きになっ
ていく、そんなみんなの姿がありました。きっとSubaruは「障害者×ア
ート」ではなく、純粹にアートっておもしろいよ、上手い下手関係なく表
現するっておもしろいよという「楽しむ×アート」のスタイルで関わって
くれているので、アートに対する苦手意識が自然となくなっていったので
はないかと思えます。



今年度も、どんな作品が作られていくのかワクワクしますね！

やがいえいがさい しゅってん 野外映画祭で出店&PR

ぶん あかだ
文：岡田

リアライズでは地元泉大津に密着しながら活動を続けていくため、地域活動にも力を入れています！

5月には泉大津で開催された野外映画祭にも参加させていただいたので、その報告をさせていただきます☆

■野外映画祭って？

野外映画祭とは「映画館がない泉大津市に、老若男女誰もが気楽に映画を楽しめる場所をつくっていきたい！」という想いのもと始められたイベントであり、これまでも泉大津のもんとパークや岸和田の蜻蛉池公園でイベントが実施されています。

■出店・ダンス・映画、イベントの数々に圧巻の人だかり！

映画祭では映画上映のほか、飲食や体験のブース、ダンスステージ、だんじりの鳴り物演奏などが披露され、家族連れや若い人など色々な人でにぎわいました！

リアライズでもいつも出店している「コイン落としゲーム」のブースを出店したのですが、破格の料金で景品のお菓子を渡したところ、激安のうわさが広まり、子どもたちがビックリするほどの勢いで殺到！（笑）

出店終了予定時間を迎える前に景品が完売するという、ありがたい結末を迎えました♪（ゲームをしてくれた子のご家族の方などに、リアライズのチラシを渡してちゃっかりPRもさせてもらいました☆）

出店やマイクパフォーマンスも終わって夜を迎えたあとは、いよいよ今回のメインイベント、映画「ミニオンズフィーバー」が会場の東雲公園で上映されました！

大きなグラウンド全面を埋めつくしきるほどの圧巻の人だかりの中、星空のもとみんなで一緒に見たミニオンは、これまでの泉大津でのエピソードの中でも、心に深く刻まれる思い出の一つとなりました♪



へんしゅうこうき 編集後記



いつもリアルライフNewsをお読みいただきありがとうございます。
毎年一年が経つのは早いなあと思いながら編集している北村です。

実際編集を始めるとこんなに色々やってたのか、と思うくらい今年も活動やイベントが目白押し的一年でした。

ページ数の関係上、やったことすべてを掲載するわけにもいかず、一年の中のほんの一部の紹介になってしまうのが毎年悩みの種です。

それだけリアライズが毎年いろいろな活動や運動を行えている証と、ポジティブにとらえていきましょうか(笑)

尚、日々の活動や出来事については、リアライズのSNSにて毎日発信しておりますので、ぜひそちらのチェックと、できればフォロー&いいねをしていただければモチベーションがすごく上がりますのでよろしく願いいたします(笑)

昨年度は広報でも様々な新しい情報発信を行った年でもありました。
南海バスの車両をリアライズの宣伝と介助者募集を行うために横一面ラッピングをさせていただいたり、街頭のLED看板でリアライズの広告を流したりと今までにはなかった、新たな道を模索し挑戦してきた年でした。

この経験をもとに、今年度もぜひ新たな挑戦・新たなステージの開拓を広報としてさらにブラッシュアップして行っていきたいと思います。

今年度も色々な活動や運動を中心に、皆様へしっかりとリアライズの情報をお届けできるよう広報一同、一丸となって情報発信してまいりますので、どうか今後もリアライズの応援をよろしく願いいたします!

へんしゅうたんとう きたむら
編集担当:北村

さ！のどから手が出るほど

介助者が欲しい！！

障害があっても当たり前前の生活がしたい！

そのために**介助者が必要**なんです！

- 時給1,190円～
- 髪型・髪色・服装自由
- 週1勤務～OK!
- 社保・厚生年金あり
- 正社員登用あり
- 交通費支給
- 学生OK!
- 資格取得支援制度あり
- 高時給
- 未経験者大歓迎
- WワークOK!

求人情報は
Webサイトから!



リアライズLINE
公式アカウント



〒595-0071

大阪府泉大津市助松町1-3-33-104

TEL:0725-22-7716

Web:<http://www.cil-realize.com>





1984年8月20日 第3種郵便物承認 毎月(5・10・15・20・25日)発行

へんしゅうにん
編集人

とくていひえりかつどうほうじん
特定非営利活動法人
じりつせいかつ
自立生活センター・リアルライブ
〒595-0071
おおさかふいずみおおつしすけまつちょう
大阪府泉大津市助松町1-3-33-104
TEL:0725-22-7716
FAX:0725-22-7746

はっこうにん
発行人

かんさいしょうがいしゃていきかんこうぶつきょうかい
関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015
おおさかしてんのうじくさなだやまちょう
大阪市天王寺区真田山町2-2
とうこう かい
東興ビル4階

ていか えん
定価:100円

